



校章の由来
県立三中进行を意味した三つの剣を組み合わせ、初代大屋校長の考で剛健・真剣・勤儉の三けん、更に智・仁・勇の三徳を兼ねた象徴として用いられて来た

厚高同窓会報

〈第59号〉2025年(令和7年)8月1日(金)発行
<https://www.atsukou-dousou.org/>

旧制中学卒業生 3,915 名
新制高校卒業生 29,594 名
合 計 33,509 名

発行 神奈川県立厚木高等学校同窓会
編集 厚木高等学校同窓会広報委員会
TEL 046 (221) 4078
FAX 046 (222) 8243

ここから始まった私たちの物語

次の10年に向け 同窓会活動のさらなる前進を!!



平成27年(2015)撮影

新しい年度が始まり、厚木高校同窓会の活動も新たなスタートを切りました。各地の戸陵会の動きも活発になってきております。会員の皆様の活躍も頻繁に耳にするようになり、厚木高校の底力を実感する機会も増えました。母校では新校長の八田直昭先生が赴任され、一新された空気感の中で、後輩諸君も勉学やクラブ活動に励んでいることと思います。文武両道の活躍の様子そして進路状況などを聞き、頼もしい限りである歴史も伝統も確実に積み上げられていることは間違いありません。

しかし、少子化の時代を迎え、母校を取り巻く環境がいつまでも同じように続くとは限りません。既に一部で県立高の統合が始まっております。中高一貫教育の波もさらに強まっていくでしょう。これで私学授業料無償化の動きが本格化すれば、厚木高校のような県立高はどうなっていくのか、そろそろ私たちも本格的に考えなければならなくなってきました。時代の動きに合わせて、私たちの同窓会



同窓会会長 熊坂 隆光(高19回)

変化に合わせた同窓会活動 母校の応援も発想の転換で 若手の参加拡大も力ギ

活動も今のままでいいのかどうか、新しい波に洗われる母校をどう応援していくのか、今年度は皆様とともに考えていきたいと思ひます。

各戸陵会とも活動は活発ではあります。参加会員の高齢化が進んでおります。学区制の廃止が遠因となって若手会員が減少している支部もあります。若手の参加拡大は不可欠で、若手取り込みに積極的に力を入れている支部もありますが、悩みは尽きません。同窓会本部としても、各支部への支援に加え、卒業年次ごとの集まりやクラブ活動OB会への支援にも乗り出してまいります。誰もが参加しやすい同窓会を作ることから始めなければなりません。

また、各戸陵会の役員の皆様の負担軽減も重要なことだと考えております。このままではいつまでも現役を終えリタイアした卒業生が中心の集まりから脱却できません。私も含め高齢世代の会員にはなかなかきついことではあります。が、労力と経費削減の意味からも発想を転しDX化にも積極的に取り組む必要があります。こうしてあらゆる手段を講じて同窓会活動を活発にし、母校を応援する力をさらにいっそう盛り上げていくことこそが新しい環境下で母校が生き抜くために最優先にすべきことであると信じております。

部

本

活動報告

令和 7 年度通常総会開催

事業計画・予算など承認される

広報委員 小島 聡（高 33 回）

令和 7 年 6 月 28 日、レンブランホテル厚木 2 階「暁紅の間」において、令和 7 年度通常総会が開催されました。
総会には、萩田准三副会長（高 19 回）

の開会の辞、熊坂隆光同窓会長（高 19 回）挨拶、八田直昭校長の挨拶と続きました。熊坂会長の挨拶の中で、関西戸陵会の会長が斎藤十内氏（高 16 回）から福本豊氏（高

28 回）に交代になったことに触れ、長年にわたる斎藤前会長のご功績

に感謝の意が表されました。

その後、議長として小塩恒夫氏（高 22 回）が選任されて、議事審議に入りしました。令和 6 年度事業報告・決算報告（専決処分報告含む）、会計監査報告・令和 7 年度事業計画、本部会計予算について賛成多数で原案通り可決されました。

その後、松本茂副会長（高 20 回）の開会の辞で、令和 7 年度通常総会は終了しました。

総会終了後、会場を同ホテル「アンシャンテ」に移して行われた懇親会は、福島豊副会長（高 21 回）の挨拶、梅沢文明氏（高 11 回）の乾杯の音頭で始まり、冒頭には森口賢二氏（高 44 回）のミニコンサートがありました。

懇親会の途中には、後藤祐一衆議院議員（高 39 回）、佐藤圭介県議会議員（高 57 回）、田中光男副校長、及び石塚悟史教頭の挨拶がありました。

懇親会の最後には校歌斉唱、石射正英副会長（高 24 回）の挨拶と三本締めで散会となりました。



懇親会で乾杯の様子

母校に投光器を寄付

120 周年

記念事業の一環

母校教育支援基金に積み立てた有志の皆さまからのご寄付を財源として、令和 7 年 3 月にグラウンドに投光器 3 基が設置されました。

母校は令和 4 年に創立 120 周年を迎えました。その際、記念事業として校長から要望されていたのが投光器の設置でした。しかし、ちょうど同時期にグラウンドの全面改修工事が予定されており、その工事の進捗の遅れや、その後新たに具体化した旧体育館の耐震化工事に伴う動線確保の問題などが発生したため、投光器の設置工事は令和 6 年 10 月によりやく着手され、令和 6 年度末に完了しました。

設置工事は約 150 万円。野球場とサッカーコートを照らすように、3 基の投光器が設置されました。今後、秋から冬にかけて、日没を気にすることなく部活動に励む生徒たちを明るく照らしてくれることでしょう。

当時の大沢校長からは、環境整備に対する同窓会への感謝の言葉をいただきました。



グラウンドを照らす投光器

NEOFLUX チャレンジするマグネットメーカー
SCM 株式会社 相模化学金属

代表取締役 福田重男（高 13 回） 顧問 落合重治（高 13 回）

〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台 3 丁目 12 番 18 号
TEL 042-773-2626(代) FAX 042-772-0099

再生可能エネルギー事業により地域社会に貢献する

MM マグメディカ株式会社

代表取締役 福田重男（高 13 回） 顧問 落合重治（高 13 回）

〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台 3 丁目 12 番 18 号
TEL 042-773-2626(代) FAX 042-772-0099

事業報告

チャリティゴルフコンペ

校歌・応援歌で盛り上がる
第10回チャリティゴルフコンペを開催

厚木連合戸陵会ゴルフ委員長 中山 和男(高26回)

第10回を迎えたチャリティゴルフコンペ(同窓会主催、厚木連合戸陵会主管)を令和6年10月21日、本厚木カンツリークラブで開催しました。

高4回から51回までの145人が参加し、熱い戦いが繰り広げられました。

プレー終了後の表彰式では、恒例となった応援団と吹奏楽部OBのリードで校歌・応援歌の大合唱。



表彰式で校歌・応援歌を大合唱(令和5年10月23日)

成績表 (競技方法:新ペリア)	
順位	氏名
優勝	足立原 徹(高23回)
2位	大貫 亨(高17回)
3位	森久保純生(高16回)
4位	堀江 隆(高29回)
5位	関野 俊之(高28回)



ゴルフ委員会が用意した賞品のほか、熊坂同窓会会長、各地区戸陵会、同期会、個人・企業等から協賛品がずらり!ご協賛いただいた皆さま、ありがとうございます。

なお、参加者からお預かりしたチャリティ14万5000円は、母校教育振興のため寄付させていただきます。

今年度は10月20日(月)、同会場で開催します。各支部、同期会、部活動OB会など、お誘いあわせの上、奮ってご参加ください。詳細はホームページでご確認ください。

【お知らせ】

第20回青春かながわ校歌祭開催

歌おう 校歌・応援歌

今年で節目の第20回を迎える「青春かながわ校歌祭」が10月18日(土)正午から、やまと芸術文化ホール(シリウス)で開催されます。

生の交流の場となることでしょう。申し込みは各支部で取りまとめますので、奮ってご参加ください。

練習会 8月24日(日)と9月27日(土)の午前10時から、厚木高校中庭

神奈川県内の26の県立高校が母校の校歌を中心にステージで披露します。青春の思い出を音楽とともに分かち合うこのイベントに、厚木高校同窓会も例年どおり参加し、応援団OB、吹奏楽部OBOG、ダンスドリル部OGによる一体感あるステージをお届けします。



思い出の杜に親しむ会にご参加を

緑にふれて、絆を深めて

「思い出の杜に親しむ会」ご案内

令和7年11月15日(土)、愛山町レインボー会館で厚木高등학교同窓会同窓林第13回「思い出の杜に親しむ会」が開催されます。

午前10時から、現地で各支部会から植樹された樹木の枝の剪定、下草刈り等を行った後、レインボー会館に移動し、正午から懇親会を開きます。申込用紙等は、愛川戸陵会から各支部長宛に郵送されます。



思い出の杜・懇親会の様子(令和5年11月18日)

神奈川県知事登録(10)第14577号

株式会社 松本企画

代表取締役 松本 茂(高20回)

〒259-1114

神奈川県伊勢原市高森2-17-6

TEL 0463-95-8668

FAX 0463-95-8670

安 有限会社

秋山安太郎石材

代表取締役 秋山 良次(高27回)

事務所 神奈川県伊勢原市日向576番地

電話 (0463) 95-2490

FAX (0463) 91-4144

工場 (0463) 94-1222

＝おかげさまで100年＝

三橋建設産業(株)

代表取締役 三橋 要(高21回)

一級建築士

一級建築施工管理技士

一級土木施工管理技士

本社/神奈川県伊勢原市田中975

事業部/神奈川県伊勢原市板戸806

TEL 0463-95-1133

FAX 0463-94-2727

学校情報

校長着任

「質実剛健」の校風と
名門校の 123 年の伝統

校長 八田 直昭



本年 4 月に着任し、活気あふれる生徒たちの姿に日々ふれながら、教員としての喜びをかみしめつつも、「質実剛健」の校風と智・仁・勇の三剣の校章のもと、創立以来優秀な人材を輩出してきた名門校の 123 年の伝統の重みを感じ

副校長着任

生徒への問いかけが
全ての年代への問いかけ

副校長 田中 光男



4 月に副校長として着任しました。私は栃木県大田原市出身です。教員を目指し、大田原高校から横浜国立大学教育学部へ進みました。学校の先生になりたいと考え始めたのは、小学校 5 年生の時です。クラス全員を公平に温かい眼差しで見てくださいました担任の先生と出会った頃からです。中学

じております。

さて、本校は平成 30 年度から神奈川県学力向上進学重点校にも指定され、生徒がより高い目標を定め、希望する進路を実現すべく支援をしております。また、令和 2 年度の第 2 期の指定に続き、令和 7 年度第 3 期のスーパーサイエンスハイスクールに指定されました。これまで培ってきた探究活動をより進化させ、理数教育・科学技術教育の推進及び英語によるコミュニケーション能力の育成とともに、卓越した科学技術人材の育成に取り組みしていきます。世界をリードし支える人材の育成に努めるため、本校職員とともに邁進することが校長の使命と考えております。

現在、旧体育館の改修工事が行われていて、体育や部活動は施設

校、高校では、化学が好きになりました。理論と実験のバランスが楽しく、夢中になりました。高校時代は、後に京都大学へ進んだ同級生に出会い、勉強を教えてもらいながら切磋琢磨した日々が、思い出深いです。

厚高生は、文武両道でキラキラしていて素晴らしいと感じています。将来進みたい道や夢がある人は、失敗を恐れずに、努力を続けてほしいです。SSH 校では、自ら課題を見つける力、問題を発見する力、そして解決する力、研究成果を発信する力等、将来国際的につながり、発展してゆく土壌を育みます。多くの意見に耳を傾け、丁寧に議論を重ねながら、多くの人を巻き込んで、課題の解決を探してほしいです。

「あなたは何か好きですか。何

をやりくりしながらの活動を余儀なくされております。そのような状況の中で昨年度、同窓会のご支援でグラウンドに夜間照明をつけていただいたことは、部活動をはじめとする教育活動の運営の大きな助けとなっており、ありがとうございます。今年度は校舎 2 棟の屋上防水及び外壁改修工事も予定されており、全開の教育活動とはなりません。知恵と工夫で乗り切ってまいります。

先人の皆さまが築き上げた厚木高校らしい「文武両道」の精神を堅持しつつ、次代を切り拓く生徒一人ひとりを大切に育ててまいります。つきましては、同窓生の皆さま方の心からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

校長離任

お世話になりました
心よりの感謝とともに

前校長 大沢 利郎



厚木高校には教頭として 3 年間、また定年前最後の 4 年間に校長として過ごさせていただき、心より感謝申し上げます。その間、同窓会の皆様には、110 周年と 120 周年の 2 つの記念式典にかかわらせていた

副校長離任

生徒が卒業生と
ともに成長

前副校長 小林 恵里子



令和 7 年 4 月 1 日付で麻生高等学校に異動となりました。在任中は大変お世話になりました。様々な芸術にふれて、心の豊かさをもたらす社会の担い手になってほしいと願っています。同窓会の皆様と共に、精一杯応援してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

だったこと。各戸陵会の総会にお伺いし、多くの先輩方のお話を直接伺うことができた経験は、何ものにも代えがたい貴重なものでした。

校長として着任した令和 3 年はまだコロナ禍の中にあり、すべての学校生活がままならない時期でした。「集まる」とや「歌を歌う」ことがはばかれる中、このままでは厚高生が校歌を知らずに卒業することになってしまふという危機感から、放送による壮行会に際して、校長から校歌や応援歌を歌わせてもらいました。

戸陵会の皆様には、同窓会の在り方についても学ばせていた

なご支援、ご助言をいただいています。大変頼もしく、心から感謝申し上げます。

私が勤めたのは 2 年間という短い間でしたが、着任早々、伝統ある厚木高校の 120 周年という節目の式典を経験することができました。生徒の優れた資質、能力の高さや優しさがよく現れた内容に圧倒されました。

また、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の 3 期目に挑戦するという、神奈川県立の高校では未知の世界の扉を開く取組にも携わることができました。SSH による活動が広がる中、例えば生徒が外部機関と連携した研究テーマに取り組む際には、その連携先に卒業生の方

できました。自身の母校の 50 周年に際しては、厚木高校の同窓会の姿がモデルになると同窓会役員にお伝えしました。また、現任校は 2 年後に創立 20 周年を迎えますが、再編のもととなった学校からは、1 校の 100 周年と、もう一つの 45 周年を数えることができます。両校の同窓生の支援をいただくことで、創立 20 年の学校の生徒が伝統校のプライドを得ることができるよう。これも、戸陵会の皆様の母校への思いに触れる中で得られたものです。

戸陵会のますますのご発展を祈念いたします。これからも「校歌祭」でお会いしましょう。

がいてくださるといったことが多々あり、生徒が卒業生の方々とつながりを持ちながら成長していく姿を見ることができ、厚木高校ならではの財産だと感じています。

学力向上進学重点校であり SSH でもある高校は厚木高校だけではなくありました。それでも厚木高校を選ぶ、と言っていたような厚木高校らしい教育活動を実践するにあたり、広くご活躍されている多くの卒業生の皆様にご協力を賜りたいと存じます。大きなエネルギーと可能性を持つ厚木高校の更なる発展に向けて、これからも変わらぬご指導、ご支援をお願いいたします。

最近 5 年間の大学合格者数

[現役・既卒の合計数（ ）は既卒者]令和 7 年 4 月 1 日現在

	学校名	令和 7 年春	令和 6 年春	令和 5 年春	令和 4 年春	令和 3 年春
国立	北海道	4 (2)	2 (1)	4 (1)	5 (1)	3 (1)
	京都	1 (1)	1 (0)	2 (1)	1 (1)	4 (1)
	千葉	1 (0)	2 (0)	1 (0)	4 (2)	6 (1)
	筑波	7 (1)	10 (0)	4 (0)	9 (0)	5 (0)
	電気通信	5 (1)	5 (0)	4 (1)	1 (1)	10 (0)
	東京	2 (1)	1 (1)	6 (1)	2 (1)	4 (1)
	東京外国語	3 (0)	6 (0)	4 (1)	3 (0)	0 (0)
	東京学芸	3 (0)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	4 (1)
	東京科学 (旧東京工業)	8 (1)	11 (1)	11 (2)	13 (2)	7 (2)
	東京農工	6 (0)	5 (0)	7 (0)	4 (0)	3 (1)
	東北	3 (1)	6 (0)	2 (1)	5 (2)	5 (1)
	一橋	5 (1)	6 (0)	2 (0)	5 (0)	6 (2)
	横浜国立	49 (3)	21 (0)	30 (4)	30 (1)	29 (2)
	信州	3 (0)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	名古屋	1 (0)	2 (1)	1 (0)	2 (0)	1 (0)
	大阪	2 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (0)	1 (0)
	国立計	113 (13)	113 (4)	100 (17)	117 (18)	101 (17)
公立	東京都立	15 (0)	19 (0)	34 (0)	26 (3)	25 (2)
	横浜市立	8 (0)	6 (0)	6 (0)	2 (0)	4 (0)
	公立計	32 (0)	29 (1)	44 (0)	32 (4)	32 (2)
私立	青山学院	92 (3)	99 (5)	91 (1)	96 (4)	99 (14)
	神奈川	13 (0)	13 (0)	15 (1)	16 (0)	20 (2)
	北里	18 (0)	21 (0)	33 (4)	24 (2)	18 (2)
	慶應義塾	38 (9)	38 (3)	30 (4)	51 (5)	49 (14)
	工学院	18 (0)	17 (1)	11 (0)	35 (10)	23 (3)
	駒澤	33 (1)	27 (1)	21 (0)	15 (1)	25 (4)
	芝浦工業	13 (0)	20 (1)	23 (6)	31 (7)	14 (3)
	上智	41 (6)	27 (1)	26 (1)	51 (8)	39 (6)
	専修	23 (0)	26 (1)	36 (3)	21 (1)	55 (0)
	中央	69 (9)	86 (2)	96 (5)	127 (13)	103 (16)
	東海	23 (0)	13 (1)	30 (8)	20 (5)	51 (6)
	東京女子	0 (0)	7 (0)	7 (0)	12 (0)	8 (0)
	東京農業	6 (0)	9 (0)	25 (4)	12 (0)	7 (0)
	東京理科	41 (4)	36 (2)	46 (12)	63 (9)	54 (25)
	東洋	15 (0)	18 (0)	21 (0)	20 (4)	32 (4)
	日本	35 (0)	25 (0)	43 (7)	52 (5)	58 (7)
	日本女子	13 (0)	7 (0)	15 (0)	8 (1)	11 (0)
	法政	123 (8)	108 (4)	132 (8)	90 (5)	92 (14)
	東京都市	36 (1)	44 (0)	44 (7)	31 (3)	29 (5)
	明治	187 (15)	183 (3)	198 (21)	212 (13)	191 (30)
	明治学院	30 (1)	16 (0)	33 (2)	24 (1)	23 (6)
	立教	47 (2)	39 (1)	71 (5)	47 (10)	50 (4)
	早稲田	70 (5)	60 (5)	103 (7)	83 (7)	56 (11)
	私立計	1135 (71)	1089 (48)	1368 (124)	1339 (148)	1428 (208)

最近 5 年間の進学状況

卒業生進路	令和 7 年 高 77 回	令和 6 年 高 76 回	令和 5 年 高 75 回	令和 4 年 高 74 回	令和 3 年 高 73 回
国公立大学	119	125	110	117	97
私立大学	178	169	202	183	216
短期大学	0	0	0	0	0
専修学校・大学校等	1	2	3	2	4
進学者数計	298	296	315	302	312
入学者	85%	84%	90%	87%	89%
卒業生総数	350	353	351	350	355

同窓の絆で母校を応援！

部活動支援基金で全国・関東大会
出場などをサポート！

同窓会では、会費や寄付金の一部を「部活動支援基金」に積み立て、全国大会や関東大会に出場する生徒たちと引率する先生方の支援を行っています。

令和 6 年度は次の 6 部に対して 38 万円、それ以外の部に 30 万円（3 万円を 10 部、合わせて 68 万円を支援しました。

各部が日々の努力を重ねることに、全国・関東大会出場という成果を収め、晴れ舞台で厚木高校の名を広めてくれたことは、私たち同窓生にとっても大きな喜びと誇りです。

今後、母校の伝統と未来を担う在校生の活動を後押しするため、皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

次の各部が全国・関東大会で活躍しました。

■陸上部Ⅱ関東高校陸上選手権（1 人）1500m 予選 2 組 7 着

■文芸部Ⅱ全国高等学校総合文化祭（1 人）文芸部門（散文）に参加。文学研修、全体交流会、部門別交流会等に参加し、成果を発表

■新聞部Ⅱ全国高等学校総合文化

化祭（2 人）新聞部門に参加し、共同新聞を制作

■ダンスドリル部Ⅱ全日本チアダンス選手権大会（19 人）高校生編成チアダンス部門 2 位

パフォーミングスチアグラウンドファイナル出場（19 人）、USA

シヨナルズ 2025（18 人）高等学校編成 Song/Pom

部門 ラージ A 2 位

■弓道部Ⅱ関東高等学校弓道大会

（2 人）技能優秀賞 全国高等学校弓道選抜大会（1 人）決勝戦敗退

■吹奏楽部Ⅱ日本管楽合奏コンテスト全国大会（73 人）優秀賞、日本学校合奏コンクール全国大会（73 人）優秀賞

ダンスドリル部
USANationalis



陸上競技部
(関東高校陸上選手権)



吹奏楽部のステージ



【ご寄付のご案内】
（口 座）横浜銀行厚木支店 普 2 2 6 6 9 1 8
（名義人）神奈川県立厚木高等学校同窓会
部活動支援基金 会長 熊坂隆光
※ご送金の際は、氏名と卒回（例：高 26 回）を明記してください。

令和 6 年度茅賞は岩本和啓さんに
学業・部活動・人物などすべてにおいて優れている卒業生 1 人に贈られる茅賞は、岩本和啓さん（高 77 回）が受賞しました。



挑戦し続けた 3 年間
仲間とともに一段上へ

令和 6 年度茅賞をいただき、とても驚きました。同時に、本当に自分でのいのかという気持ちになりました。なぜなら新聞制作を通じて、この賞がいかに特別なものかを知っていたからです。自分には、選ばれるに足る唯一性や完璧さはないと思っていました。
私がこの 3 年間で取り組んだ新聞部、演劇部、文芸部、模擬国連での活動は、どれも仲間の支えなくしては成立しないものでした。特に模擬国連では相手とともに全国大会に挑戦し、貴重な経験ができましたが、一人の力では到底無理でした。
入学初日には提出書類を忘れて、電車でも乗り過ぎて遅刻したりなど失敗も多く、至らぬ点ばかりでした。それでも挑戦を恐れず、多様なことに飛び込んだことが、今回の受賞につながったのかも知れません。
悩みながらも積み重ねられたのは、共に歩んでくれた仲間の存在があったからです。完璧ではない自分だからこそ得られた経験がたくさんありました。今は支えてくれた仲間、そしてこの栄誉を与えてくださった先生方に、心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。
（厚高新聞 第 278 号掲載記事を要約）

支部だより

関西戸陵会

阪神・淡路

大震災から 30 年

前会長 斎藤 十内（高 16 回）

「関西で大地震！ 神戸で震度 7！」この地震の揺れを感じることの少ない関西在住の厚高同窓生は誰もが「まさか！」と思っ

たはず。1995 年 1 月 17 日に発生した阪神・淡路大震災（以後阪神震災と略）では神戸と周辺都市では震度 7 を記録し戦後最大の災害となりました。都市直下型だったため建物の倒壊や火災が相次ぎ、避難生活の長期化で体調を崩すなどした「災害関連死」も含めて 6434 人が亡くなり



数千本の灯籠に火がともされ、「よりそう」の文字が浮かびあがった（令和 7 年 1 月 17 日、東遊園地）



阪神高速倒壊現場（平成 7 年 1 月 18 日）

4 万 5000 人以上が負傷。

発生から 30 年となる今年 1 月 17 日、神戸市中央区の公園「東遊園地」には、犠牲者を悼む灯籠が「1・17」や「よりそう」という文字のかたちに並べられ、地震が発生した午前 5 時 46 分には訪れた人たちが黙とうをささげました。

「よりそう」という文字には、震災を経験した人が少なくとも被災者を忘れず寄り添い続けようという思いや、この 30 年の間に起きたさまざまな被害の被災地にも寄り添い支えていこうという思いが込められています。

■関西戸陵会の皆さんの体験情報

◎「大阪市でも神戸から遠いところですが、揺れが激しかったのを覚えています。マンションは壁が剥がれ落ちたりしました」「鉄道が止まり、職場の先輩の車に乗せてもらい、渋滞が始ま

る寸前に職場に着く。翌日から神戸の病院支援が始まり、医師、看護師、事務が 1 チーム、4 日目に救急車で神戸市東灘区に向かい救助活動に専念。病院では知人から借りた寝袋を使い仮眠、余震が何度も起き不安でした」

◎「主人は J-R も私鉄も止まって出勤できず。家で待機」

◎「交通機関が遮断されて動けず。海外出張の予定も中止に」

◎「六甲アイランドが液化状態でインフラが使えず体育館に避難。六甲ライナーが不通で、4 月から小学 1 年生になった娘は代替バスで通学」

◎「早朝で就寝中大きな揺れを感じて反射的に横に寝ている 6 か月の娘に覆い被さったのを記憶しています」

◎「当時所属していた京大の研究室でも特に被害はなかったのですが、震度 4 程度とはいえ私にとって過去 1 番の揺れで、とにかく怖かったです」

◎「大学院の 2 年目。揺れる直前に目が覚め、本棚から大量の本が崩れ落ちてきたのを覚えています。その年の 4 月から大学院を休学し、被災地の西宮市に約 1 年間ボランティアに行きました。障害者のグループホームを運営する福祉法人のお手伝いです」

◎「私は出張中だったが、家族の話ではドスンという音と同時にベッド上方に身体が浮くのを感じたと恐怖の瞬間を聞いています。自宅からすぐ近くの鉄筋コンクリート造の家の壁が真つぐ縦に割れているのを見て、地震の凄まじさに戦慄を覚えました」

体験情報で皆さんが挙げた大変だったことは、水道・電気・ガスなどインフラの問題以外に交通が完全に遮断されたこと、通信が出来なかったこと、自分たちの周りがどうなっているのか全く分からなかったこと等でした。

■阪神震災から 30 年経って思うこと

多くの人が「関西では大地震は起きない」と思っていた中、阪神震災は起きました。東北では巨大地震は起きない、とほとんどの専門家が予測していたが東日本大震災は起きました。昨年の元日には能登半島地震でも大きな被害が生じました。日本のどこでも大地震は起こり得る。津波が来ない海岸はないということ。それを肝に銘

じ、次の試練に備えなくてはならないと思います。

地震は防げないが、被害は減らせます。家の倒壊から救助された 77% の人たちは、家族や近隣住民により救出されています。いかに地域との「つながり」「絆」が大事かを学びました。同時に芽生えたボランティア活動は全国の災害で大きな力になって、阪神震災のときが 167 万人、2011 年の東日本大震災では 550 万人が復興を助けています。記憶の風化は大きな課題です。神戸市立小学校的音楽教師が作詞作曲した「しあわせ運べるように」は小学校全児童により歌い継がれ、その後発生するどの震災でも歌われています。スポーツでは、「がんばろう

KOBE」をスローガンにオリックスバファローズ、ヴェルセル神戸など神戸のトップスポーツチームが活躍中。歌とスポーツが震災の風化に効果を上げています。

大震災では避難の遅れが被害の拡大を招きました。強い揺れを感じたら躊躇せず直ちに逃げる。南海トラフ大震災なら高台に逃げる。尚更です。これまでの経験と教訓を総動員し、被害を減らす対策を急ぎ震災による犠牲を無にしたいなりません。それが今を生きるわれわれの責任でしょう。自分の命と大切な人の命を守るために何ができるのか。全ての国民が真剣に考え、災害に強い日本をつくっていく。その決意を新たにしています。

第 13 回総会・懇親会を開催

ゲストに

井上奈良国立博物館長

関西戸陵会では令和 7 年 5 月 25 日、ホテルグランヴィア大阪で近畿 2 府 4 県の広いエリアから最年長 6 回から高 52 回まで 22 人が出席し、特別ゲストとして奈良国立博物館館長の井上洋一さん（高 27 回）をお迎えして総会・懇親会を開催しました。

奈良国立博物館では開館 130 年を記念して特別展「超国宝祈りのかがやき展」が開催されていて、井上館長は大変忙しい中でしたが、1 時間半を超す講演をして頂きました。

「文化遺産は人類の歩みの歴史を教えてくれること、そして「人々を心豊かな人間へと導いてくれること」、「過去を理解出来る

者は未来を理解できること」など、世界中の文化遺産を調査研究して得られた貴重なお話を聞くことができました。

これぞ厚高同窓会の有難さだと実感。出席者からの近況報告の後、最後は校歌を声高らかに歌い余韻冷めやらぬうちに



井上奈良国立博物館長（前列右から 4 人目）

綾瀬戸陵会①

世界で活躍する同窓生

駐ベルギー特命全権大使
三上正裕氏を訪ねて

新井 隆司(高25回)

今年4月9日から25日までの16日間、ベルギー、オランダ、ドイツの3か国を巡る一人旅を敢行しました。私はいま厚高吹奏楽部OBを中心とするバンド活動をしていて、その仲間のお嬢さんがベルギーに住んでいるので、彼女を訪ねることも目的の一つでした。

事前準備で在ベルギー日本国大使館のホームページが目にとまり、さらに調べていくうちに、特命全権大使三上正裕氏がなんと母校の

出身であることがわかりました。そこで私は、大使にお会いできるかどうか分からない中、野球の



三上正裕 大使(写真左)

応援で使う『がんばれ 厚木高校野球部』のエンジのうちわを三上大使に届けようと、スーツケースにしのばせたのです。旅の最初の訪問地がベルギーでした。4月10日、首都ブリュッセルに着いた私は、無謀にもアポなしで大使館を訪れることにしました。モダンで洗練された建物で、

入り口には日の丸が掲げられ菊の御紋もあり、すぐ大使館だとわかりました。この時大使はご不在で、受付の方に事情を説明し、大使にお渡ししたくよう、うちわを預けてホテルに戻りました。しばらくすると秘書の方から、「時間があれば大使にお目にかかります」とのメールがきたのです。私はすぐに大使館に向きました。



ベルギーの日本大使館

同期の高33回であること、奥様も厚高同級生であることなど、気さくにお話ししてくださいました。国際社会の第一線、しかも外交のトップで活躍する後輩の姿に、大きな誇りを感じたひとときでした。同窓でなければ実現できなかったであろう今回の面会は、私の一生の思い出になりました。

依知・厚木戸陵会

秋晴れの弘法山を歩く

低山・温泉・一杯の
贅沢な一日依知戸陵会・厚木戸陵会
合同ハイキング

大沢 弘(高25回)

令和6年11月27日に依知戸陵会5人、厚木戸陵会2人の計7人で年1回のハイキングを行いました。今回は秦野駅から鶴巻温泉までの弘法山公園・吾妻山ハイキングコースをたどりました。

この行事のモットーは「低山・温泉・一杯」です。最初の予定は11月20日でしたが、冷たい雨が降り続いたため一

週間遅らせての開催でした。天候は晴れ。最高気温20度超えの予想の中、秦野駅から出発しました。弘法山入口まで約1700m。途中「弘法の清水」に寄ったり、「命徳寺」に寄ったりとのんびりとスタートをきりました。入口を過ぎると浅間山、権現山山頂まで上り坂が続きます。上りに入ると急にペースが落ち、高めの気温に汗が吹き出し、何度も休み、そのたびに1枚、2枚と上着を脱いで、中にはシャツ1枚の人もいるくらいの暑さでした。

足腰はやや衰えてきたメンバーで、なかなか前には進みませんが、口達者で物知りが多いため、和気あいあいとした笑いの絶えない上りになりました。弘法山公園の展望台からは富士山、相模湾、大島、伊豆半島などがはっきりと見え、



弘法の清水



富士山を背に展望台にて

素晴らしい眺望でした。さらに弘法山からは、三浦半島、房総半島まで見渡せました。弘法山を過ぎると鶴巻温泉まで下りが多くなります。本来ならペースが上がるところですが、膝への負担を気にしてストックをつきながら恐る恐る下りるため、上りと同様スローペース。ほぼ予定時刻どおりの13時30分過ぎに鶴巻温泉にある弘法の湯にゴールしました。わずか7・5キロ

どのハイキングでしたが、全員が汗一杯、達成感一杯でした。そして、行事のモットーどおり、お風呂に入って汗を流した後は1杯、2杯とエネルギーを補充

しつつ来年の行き先について語り合いました。次の「低山・温泉・一杯」はどこになるのでしょうか。今から楽しみです。



菊地 努(高45回)

営業時間 火～金曜日 17:00～23:00 定休日:月曜日
土・祝日 16:30～23:00
日曜日 16:30～22:00
住所 〒242-0006 大和市南林間2-10-9
電話 046-275-0590

有限会社
林プロパン商会プロパンガス供給、工事
お気軽にご相談ください

厚木市下荻野1490

☎ 046-241-1043

代表取締役 高橋 健太郎(高51回)

有限会社
スズキエンタープライズ公認不動産コンサルティングマスター
宅地建物取引士

代表取締役 鈴木正美(高23回)

〒243-0206 厚木市下川入278-1

TEL 046-245-8181/090-2332-6970

Mail: suzuki040101@sky.plala.or.jpURL: <https://suzuki-ent.info/>

綾瀬戸陵会②

高校生美術監督が誕生

種田 陽平 (高30回)



厚高に入って1年生の秋、進路指導があった。先生に「どうするんだ」と問われ「美術大学に行きます」と答えていた。その日の帰り道、夕陽の中、坂の途中にあった電話ボックスに駆け込み、分厚い電話帳の中に絵画教室を探した。毎日、絵画教室に通う日々が始まった。朝夕厚高への坂道をスケッチブックやキャンバスなど絵の道具を抱え上り下りする。同級生は「あれ？ 種田、美術部だった？」と驚くほど、僕の行動は素早かった。やがて芸術系大学への進学を希望する同期生がいることがわかったが数人と少なく、進学校の厚高高校において僕らはいささか浮いた存在だよな、と思っていた。

けれど、3年生のとき、僕は目標を異にする同級生たちから勇気をもらえる出来事があった。体育祭が近づき、クラスごとに大きな絵看板を作ることになったとき「種田君は美大の油絵科を目指しているんだからリーダーになるべきだ」と言われ、引き受けた。これが僕的美術監督としての

初仕事、高校生美術監督誕生の間だ。絵柄は当時大流行していたアニメ『宇宙戦艦ヤマト』のヤマトに決まった。男子クラスだったためか絵柄に異議を唱える同級生はいなかった。僕はスケッチブックに2枚のヤマトの絵を描いた。1枚は宇宙を飛行する勇壮なヤマト、もう一枚は夕焼けの中で眠っているジャンクとなったヤマトだ。表と裏にそれぞれのヤマトを描き体育祭の途中で絵を替えるという趣向はどうだ、と皆が盛り上がった。



20歳の時、寺山修司監督と

中庭で縦6メートル、横12メートルほどの大看板の制作が始まった。僕は何しろ「美術監督」なので全体を見なくてはならない。4階の廊下の窓から身を乗り出して、中庭にベニヤ板を並べて描いている同級生たちに指示を出す。ときには階段を駆けおりて絵を修正する。「皆の意見をまとめ、指示を出して、大勢で美術を作りあげる」

高校生美術監督としての経験が僕の職業美術監督の原型となったことは言うまでもない。それから半世紀近く経った今も僕は同じことをやっている。美術をつくりあげる仲間の数は増えていき、かけられる予算も大きくなって、経験も積んできたけれど、「美術監督」として仕事に向かう気持ちは「高校生美術監督」当時と同じなのだ。体育祭での最優秀アート作品は高校生らしいオリジナルの題材を選んだ別のクラスの大看板だった。がっかりして落ち込む僕の元に、



高校時代の筆者 (中央)

いうのは難しく、ことさら映画美術というのは理解されにくい分野だと思う。大勢の人間の時間体力気力を込めた映画美術でも評価の俎上にすらあげてもらえないこともしばしばだ。しかし、そんなときでも僕は平気でいられる。厚高3年B組の同級生たちからもらった勇気の炎を燃やし続



撮影現場での筆者



撮影現場での筆者・近影

けているからだ。皆で力を出し切り、やり切る。それが次の作品、明日へと繋がる。そのことを、あの日、同級生たちが僕に教えてくれたのである。

僕が美術監督を手がけた映画で今年、2025年に公開される映画が2本あります。日本映画『国宝』と米国映画『モータル・コンバット2』です。映画館で観ていただけたら大変嬉しいのです。

種田陽平 (本名 康幸) 美術監督、プロダクション・デザイナー

武蔵野美術大学油絵科卒業。大学在学中、寺山修司監督「さらば箱舟」などで絵画助手をつとめたことをきっかけに映画美術の世界に入る。「スワロウテイル」で注目を浴びる。続く『不夜城』では香港電影金像獎を受賞。米国映画『キルビルVOLUME 1』が話題となり、その後もアニメ映画『イノセンス』やジブリ作品『思い出のマーニー』などジャンルを超えて活動。特有の世界観をきずいている。2009年に芸術選奨を2011年に紫綬褒章を受け、2021年には東京オリンピックとパラリンピックの全開式閉会式の舞台美術も担当した。



みひらクリニック

〒242-0023

大和市渋谷4-8-4スカイステーション101

TEL 046-201-2220 FAX 046-201-2221

院長 三平 将彦 (高36回)



湘南台 SHONANDAI Neurosurgery Clinic 脳神経外科クリニック

院長 落合 周太郎 (高36回)

脳神経外科・内科 <https://shonandai-neuro.jp>

TEL.0466-45-5500

〒252-0804 藤沢市湘南台 2-7-15 東急ドエルアルス湘南台アネックス1F



院長 歯科医師 新野見 昇一 (高36回)

〒252-0002 座間市小松原1-26-22遠藤ビル1階

TEL 046-255-0118

○座間市歯科医師会 常務理事

○国際和合医療学会 理事

ます。大阪での単身赴任期間が3年でしたが、その間、毎週のように、大阪はもちろんのこと京都、神戸の神社仏閣や景勝地に足を延ばしていました。その時、ただ単に名所を見るだけでなく、



その時の印象や心持ちなど記録に残そうと思い、始めたものです。令和2年からは、タウンニュースの一併句でひと息のコーナーに投句を始めました。冒頭の句は、投句を始めた頃に掲載された句です。以後、毎月投句を続けています。

菜作りを楽しんでいます。会社で働いていた頃はデスクワークだった



楽しんでいきます。会社で
た頃はデスクワークだった
ので、体を動かすこと
をしようと思っていま
しました。市民農園は、
今年で10年目になりま
す。夏野菜、大根、ジャ
ガイモ、里芋、人参等
いろいろチャレンジを
しています。野菜作り
は、孫達との交流の場
ともなっています。ゴ
ルフは、厚高同期好
会、南毛利戸陵会、会
社のOB会等楽しんで
います。

そして、いま最も楽
しんでいるのは俳画で
す。俳画と聞いて、ど
んなものかわかる人
は少ないと思います。俳

句的感覚で墨や顔彩を使って季節感を盛り込んだ絵の表現です。季節ごこの花木や青果、郷土玩具など画題は無数にあります。俳画も仕事をリタイアした年から、カルチャースクールで教えてもらっています。俳画は、なじみがないせいか生徒が少なく、その分丁寧に教えてもらっています。習い始めて10年目になりますが、描いた絵を妻に見せると、栗を里芋とまちがえたり、爆笑を誘うものが多くあります。

秋の夜昭和の歌を聴きながら
熱爛や先を憂えずただ呑まん
これからも素晴らしい趣味の世
界を楽しんでいきます。

障がい者の社会参加を
地域づくりの中心に据えて
白根工房30余年の経過

會計 永井 明 (高30回)

平成10年、障害者地域作業所を開設しました。「街かどの小さな通所施設」といわれ、星の数ほど作業所を！と言われ、特に知的障がいのある方にとっては本当に利用しやすい小規模施設として発展しました。大きな法改正があり、障害者自立支援法・総合福祉法へと障害福祉サービスは転換しました。多くの地域作業所は就労支援の事業へ移行し、障がいのある方も働いて工賃を得ていく方向性も

大きな可能性を与えたと考えますが、いわゆる工賃向上に力点を置き、生産性重視が過ぎるのでは？という批判も多く出され、より重度的の方の通所の場合、という意味では課題も多くなっている気もします。

その中で私ども白根工房は「地域活動支援センター」という市町村の事業を選択し現在に至っております。地域でのつながり、地域生活を支えていくことに力を置いている事業と思います。国の示している「重層的支援体制整備」にも明確に位置づいています。

日々の活動は地域作業所の時と変わりませんが、より地域に出ていく、地域の方との共同で障がいのある方に生きがいを持っていただくことに力を入れています。

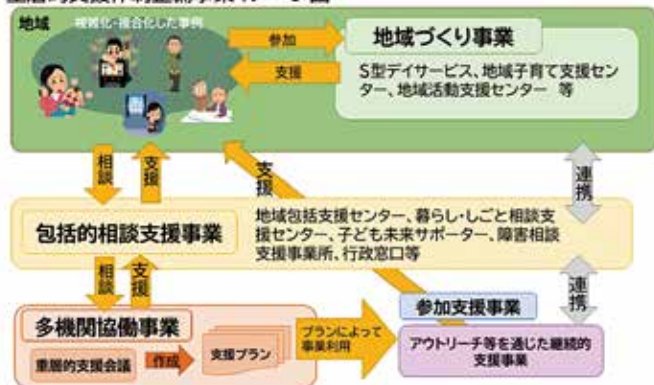
昨今では地域づくりが大きく叫

ばれる一方で、生活様式の多様化もあり、地域活動の難しさも課題です。自治会加入率の低下、子供会はじめ地域の団体では役員のなり手がいないなど、存続が難しいという声も多く聞きます。特に自然災害などにおいてはまさに「地域力」が大きくものをいいます。生活困窮や人手不足のなか、地域活動に目が向かないような感じですが。私どもの事業所は地域の多くの方たちに支えられて活動しています。自治会の方々、民生委員はじめたくさんの方ボランティアの方が訪れています。こちらも公民館活動等、地域の活動には積極的に参加し、事業所の名前を多くの地域の方に知っていただけるようになりました。

今後この方向性を重視して地域の方々が、「いつでも、だれで

も」利用してもらえ
るような事業所を目指
したいと考え、焦点化・
重点化していくつもり
です。毎日の暮らしの
中で、地域の人たちが
顔見知りになり、気軽
に声をかけられるよう
な、そんな地域になり
ますよう進めていくこ
とができたらと考えま
す。地域の多くの方に
支えられ生活できるこ
とは利用者さんにとつ
て本当に幸せなことデ
す。今後も微力ながら
地域の中で活動してい
きたいと思います。多
くの方に支えていただ
けますよう、切にお願
い申し上げます。

重層的支援体制整備事業イメージ図



浦 恭子税理士事務所

所長 浦 恭子(旧姓：赤津)高36回
〒245-0008 横浜市泉区弥生台6-35
TEL045-811-9332



※他 行政書士在籍

七輪炭火
焼肉

これからも皆様の期待に
応えられるよう努力していきます

株式会社味ん味ん
代表取締役 三上 賀通(高36回)

水島泉 税理士事務所

税理士 行政書士 水島 泉 (高29回)

〒243-0816 神奈川県厚木市林3丁目7番6号

電話 046(295)5201

FAX 046(295)5202

E-mail: mizumi28@coda.plala.or.jp

相模原戸陵会

懐かしきあのころ

根岸 信行 (高9回)

これは平成30年5月発行の「厚校相模原戸陵会創立三十周年記念誌」に掲載されたものです。根岸信行氏は、「北相模総守護社 亀ヶ池八幡宮」の宮司でしたが、令和6年12月2日に86歳で永眠されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

相模原戸陵会会長
杉岡芳樹 (高21回)

相模原市立上溝中学校の卒業式後の昭和29年3月中旬と思います



亀ヶ池八幡宮 (令和7年6月)

入学直後、昼休みに中庭に集合して、伝統である校歌の練習を1週間程、先輩たちにごかれしました。通学時には自転車や依知の砂利道の旧道を行きましたが、登校時は下り坂が多く楽しでしたが校時は上りとなり大変でした。普段は上溝駅から相模線を利用していました。相模線は大東亜戦争前はディーゼルカーが走っていましたがガソリン、軽油不足で再び蒸気機関車に代わり、昭和29年の入学後暫くは蒸気機関車の通学になり冬は暖

が、茅ヶ崎駅発の夜行列車で車中2泊、旅館1泊の京都・奈良方面の修学旅行が行われました。3日目の車中泊の帰途、相模線の厚木駅で下車し、重いリュックサックを背負い厚校受験生の仲間とともに合格発表を見に行きました。全員合格し、喜びあい、中学校へ直行し担任の先生に報告しました。その後両親に合格を伝える大変喜んでくれました。当時は、厚本高等学校普通科への受験は学区制が敷かれ相模原市上溝地区は学区外であったため、座間市の親戚に寄留し受験手続をしたものです。4月の入学式には母と一緒に臨み、式後1年C組岡部清先生の教室に入り、岡部先生から入学後の学校生活の話、教科書購入のことなどのオリエンテーションがありました。下校後、母とともに石村書店で教科書を買って帰宅しました。

津久井戸陵会

旧交を温め思うこと

広報委員 小室 久敏 (高20回)

この4月、昨年に続き津久井戸陵会の総会と懇親会が開催されました。コロナ禍で長らく中断していましたが昨年から再開されたもので旧交を温める良い機会となりました。

同窓会本部から熊坂会長、事務局長がご出席くださり、津久井戸陵会会員も13人参加されました。私を含め参加会員の過半数は後期高齢者でした。物故者報告では知己の先輩が亡くなったことを知り、病気を患っていることと聞いてはいたものの残念なことでありました。これまでも充実した社会生活を送り、リタイア後に他界した同級生の報に静かな衝撃を受けた

かくてよいのだが、夏は煙に悩まされました。校庭の北側に体育系部活の部室があり、その西隣りの職舎にお住いだった岡部先生宅へ学習や進路のことなどで度々訪れた思い出があります。戸室の崖下のプールは殊の外冷たい水で、水泳の授業で風邪を引き、5日学校を休んだことや、短距離競争は不得手であったが田村堀を周回するマラソンの成績は、そこそこの順位でゴールしたことなどを憶えています。また、中村好一先生の化学の時間は大変興味があり、授業が楽しかった。そうだ!!下校時、新しく完成した相模大橋を渡りながら霊峰大

山に向かい、きれいな夕焼け空の下、数人の同級生と「夕焼けトンビ(三橋美智也)」を大合唱し、スカッとした気分です。帰路につきました。楽しい思い出です。ところで2年前の平成28年春何十年振りかで家内、孫娘と一緒に母校を訪れた所、歴史と温もりを感じた木造校舎がコンクリート造りに代わっていました。少し寂しさを感じましたが、玄関先には、安藤和次郎君ら同級生が植樹した「ハナモモ」が満開の花を咲かせて、在校生らに勇気と希望を与えているように感じました。以上、80歳を超えた今、60数年前の高校生活を回顧し、拙い文章ですが書き綴ってみました。



校門前に咲く満開のハナモモ

相模原戸陵会創立30周年を祝い、同会の益々の発展と同窓会会員のご多幸、また、母校厚本高等学校の栄を祈念し結びといたします。

ことを思い出します。一昨年の統計によると日本人の平均寿命は男性82歳、女性87歳ほどですが、健康寿命は男性73歳、女性76歳ほどとのこと。いつまで元気で健康に過ごし、このような会に出席できるのか大変気になるところです。飲食と会話を楽しみながらも強く感じるのは歳月の過ぎ去る早さです。「光陰矢の如し」「歲月人を待たず」「少年老い易く学成り難し」など昔から語り継がれる言葉の重みが年を重ねるほどに身に沁みて感じられます。振り返れば人生の大部分は一瞬で過ぎ去っていったように思えます。人の命には限りがありいずれ亡くなります。そして命は親から子、孫へと引き継がれるのです。私の父親は先の戦争で仏領インドシナ(現在のベトナム、ラオス、カンボジア、中国広東省の一部)に出征しましたが、生きて



令和7年4月20日、津久井戸陵会総会の様子

帰ってきたので私がいます。無名人から影響力のある人まで無数の人々のその人生が集まって歴史が作られます。人生から学ぶこと、そして歴史から学ぶことを素直に受け止めれば道は自ずと明らかになります。「賢者は歴史に学ぶ」という言葉を噛みしめています。

※終活無料相談実施中!!
(遺言・任意後見・家族信託ほか)

 (高25回) 所長 福住 桂司

司法書士法人
あつめ木法務
ATSUMEGAKI HÔMU

〒243-0003
神奈川県厚木市青町3-6-2
TEL. 046-225-0818
FAX. 046-225-0053

 アイフォーコム®
IFORCOM

ITで笑顔を創造する

自社製品開発 / 先端技術開発 / ITソリューション

グループCEO 加川広志
(高25卒 津久井戸陵会 フェンシング部)

SAGAMI GAS
相模ガス株式会社

代表取締役 杉岡芳樹 (高21回)

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺3-1-2
TEL (042) 753-1231
FAX (042) 759-0775
ysugioka@sagamigas.com

厚木戸陵会

糖尿病とマラソン

鶴窪 一行(高26回)

私は厚木市中町で耳鼻咽喉科を
開業して30年になります。

根っからの運動嫌いで小学校、
中学校、高校と休み時間は図書館
に入りびたり、社会人になっても
日光を浴びるのが大嫌い。趣味は
仕事、唯一の楽しみは美味しい
ものを食べることに(美味しいお酒
も)。運動といえば、たまにゴルフ
をすること、それもビール片手に
酔っぱらいながらのとても運動
とは言えない体たらくでした。当
然体格は推して知るべしで身長
168cm、体重74kg、典型的なお
じさん体型になっていました。

ところが今から12年前、58歳
の時です。健康診断で血糖値
が200mg/dlを超え、糖尿
病の疑いで精密検査を受けた
ところ、空腹時血糖200超・
HbA1cも8・0以上。医師に
厳しく注意され、さすがに恐ろし
くなりました。食事制限と禁酒を
始め、体重は70kgまで落ちまし
たが、それ以上改善せず行き詰ま
りを感じていました。

それから私の七難八苦の減量作
戦が始まりました。酒はほとんど
飲まずおやつは一切無し、いつも
空腹が続いていました。74kgあ
った体重も70kgまで減りました
が、そこまで、それ以上の改善
は認められません。どうしたもの
かと考えあぐねていた時に、厚木
市内で内科を開業している内山順
造君(高33回)から「先生、走ろう」
と声をかけられました。運動大嫌

いの私でしたが、体重を落とすに
はそれしかないと思い、いやいや
ながら毎朝、診療前に2kmのラン
ニングを始め、夏には宮ヶ瀬ダム
24時間リレーマラソンに出場。最
初の2kmで膝を痛めて全く動けな
くなり、残りの23時間30分はテ
ントで寝ているだけでした。その悔
しさがきっかけで、走ることに
火がついたようです。



横浜マラソンの風景

「来年は東京マラソンに参加する」
と高らかに宣言
最初は妻に猛反対
されましたが、毎
朝のランニングと
ライザップの筋
トレを続け、74kg
あった体重は60kg
に。膝の痛みもほ
んど発症しなくな
りました。

ザップが開業したこともあり、週
2回の下半身の強化に取り組むよ
うになりました。いくらライザッ
プに通っても58年間、全く運動し
ていなかった私がすぐに結果にコ
ミットするものではありません。
ちょっと運動したからといって
糖尿病が劇的に良くなるものでは
ありません。

さて運命の2016年2月28日。
東京マラソン午前9時スタート。
なにせ3万人の参加者がいるので
すから、スタート号砲からスター
ト地点まで到達するのに30分か
ります。そこで30分のロスがある
ので、とても制限時間までにゴー
ルできる訳が無いとスタート前か
ら完走は諦めました。
10km走るとちょうど銀座です。
そこで棄権して昼ごはんを食べて
帰ろうと走り始めました。ところが
が周りの一緒に走っている人たち
に引つ張られて、いつの間にか20
km地点。かなり足が痛くなり、も
うやめようと思ったら走路の周り
には応援の人たちの壁で、とても
その壁を乗り越えてリタイアする
勇気もありません。何度も棄権す
る、したいと思いがちが気がつい
たらあと5km。こうなると欲が出

てきて、足を引き摺りながらなん
とかゴール。人生初マラソンはな
んとか完走を果たしました。
ちなみに、一番きつかったのが
ゴールしてからの更衣室までの距
離。2kmはありましたね。
それ以来、マラソンに夢中とな
り、コロナ禍で3年間ほど中断し
たものの、2024年はフルマラ
ソン2回、ハーフマラソン7回完
走。糖尿病の数値はあまり良くな
っていません。遺伝的なものと
諦めています。
今年6月に70歳になりました。
今の目標は秋の横浜マラソンか湘
南国際マラソン「70歳でのフルマ
ラソン完走」です。そのためにこ
の夏もトレーニングと節酒を心が
けます。
乞うご期待！

玉川・森の里戸陵会

地域企業の現場に学ぶ

ネポン厚木事業所
視察記

中山 博方(高23回)

去る1月15日、当支部の活動の
一環として恒例となった地域に
ある事業所視察は、幾つか候補が
あった中、厚木市上吉沢にある「ネ
ポン株式会社厚木事業所」と役員
会で決定され、私を含め10人が参
加した。

訪問して早々に、広々とした会
議室に案内され、まず社長自ら会
社概要について説明された。同社
は施設園芸を主とする農業分野、
熱源機器を扱うエネルギー分野、

環境配慮型トイレを扱う衛生環境
分野に軸足を置き、主には農業用
ハウスの温風暖房機を製造してい
る事業所である。

その後、工場内を視察し、各パー
ツの製造・組み立て・検査過程が
無駄なく配置され、驚くことに発
注から4日間で製品化する工程を
見ることができた。また、繁忙期
と需要期が重なるための職員シフ
トの対応など、熱ポンプ製作なら
ではの苦心も知ることができた。
視察を終えて会議室に戻り、質
疑の時間では会員から専門的な質
問が出るなど、熱心な問いかけが
あった。その中で特にエネルギー
コスト削減では、社員自らが農業
経験を試み、新たな技術開発につ
ながっているという企業努力も何う
ことができた。

今回の研修視察にあたり、会社



熱心に説明を受ける参加者

つるくぼ
耳鼻咽喉科

日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長

医学博士 鶴窪 一行(高26回)

〒243-0018 神奈川県厚木市中町3-3-22
TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

株式会社 肉の田口

厚木市水引1-15-12 046-221-0822
年中無休 営業時間AM10:00~PM7:00

炭火焼
ホルモン
カルビ焼 焼肉の田口

飯山店 厚木市飯山1093-4 Tel 046-242-1529
恩名店 厚木市恩名2-6-5 Tel 046-244-5629
下町店 海老名市下町3-1-3 Tel 046-206-4970

代表取締役社長 田口 幸一(高29回)

AYU

総合法律事務所
AYU General Law Office

代表弁護士 白鳥佑記(高55)

厚木市中町4-14-6 パティオビル4階
TEL 046-200-7635

座間戸陵会①

元会長

瀬戸宏孝氏を偲んで

顧問 稲垣 嘉則 (高 6 回)

令和 6 年 11 月 14 日、信号のない横断歩道を横断中に瀬戸宏孝氏は交通事故に遭遇し、手厚い介護や治療にもかかわらず 12 月 10 日、天国へ旅立ちました。

座間の同窓会は、昭和 61 年に両青会を創設、平成 13 年 10 月に名称を座間戸陵会に変更しました。故人は平成 15 年の総会で第 3 代会長に選出されました。私的には、このことが問題発生でした。「会長になるには条件がある。お前が副会長を受けなければ会長になら

ない」と、強烈に言われたことを思い出します。

高 4 回生にはいろいろな思い出があります。中庭の石畳に正座させられて、応援団長から説教を受け、上級生に遭遇したときは、挨拶を教えられました。4 回生は旧制中学から 5 年在籍していた関係



瀬戸 宏孝氏

なると見事に咲き誇りました。ゴルフも趣味を超えて、87 歳の時に大腿骨骨折も術後、厚木国際カンツリー倶楽部で開催した座間戸陵会コン

「回れたよ」との報告。大洗ゴルフ倶楽部もメンバーでした。私も誘われて、4 回生 7 名の中に私一人参加し、幹事役を務めました。夕食は外食で別荘に宿泊、夜をお過ごしください。



令和 6 年 9 月 26 日、厚木国際 CC にて

小鮎戸陵会

古稀を迎えるに

あたり思うこと

会計 白井 和生 (高 26 回)

私は大学を卒業後、保険の代理店に就職して、そのまま一度も仕事を変えることなく定年を迎え、68 歳まで嘱託の延長雇用で勤めました。仕事は主に保険募集で全国に営業所があり、特に西日本の営業所で単身赴任の勤務をしていましたので、家族(母と妻と娘 4 人)には寂しい思いをさせました。

こんなことがありました。四女の結婚式で最後に娘から両親へ感謝の手紙の朗読がありまし

た。定番の感動的な場面です。母に感謝の言葉を述べた後、私の番です。娘から発せられた父への思いは、「お父さんの印象はありません。私が小学校に入学した時に広島に転勤して、戻って来たときは中学生になっていました」でした。茫然自失状態に陥りましたが、事実なので返す言葉がありませんでした。

昭和生まれのよくある仕事人間でした。そんな四女も子供が二人生まれ、家族でよく家に顔を見せに来てくれます。

話は変わりますが、65 歳を過ぎた頃に戸陵会の先輩から自治会長の推薦を受けて、自治会活動をするようになりました。今まで地元を離れて仕事をしていましたので、地域の人間関係はほとんどない状態でした。一か

らのスタートでした。コロナ禍を挟んで、4 年間自治会長の役を務めました。お陰様で地域の方々と親しくさせて頂き、自治会の役割が多岐にわたっていることも理解することができました。

児童館の行事の手伝いをした時に、子供たちが遊んでいる姿を見て、家の娘たちも児童館でお世話になっていたことを思い出し、少しでも恩返しができることに感謝しました。

現在満 69 歳、10 月には古稀を迎えます。70 年の人生の歩みの中で、悔いのない人生を歩んでいるか自分に問いかけてみると、いい人生を歩んでいるといえます。若い時は交通事故で入院して多くの方々にご迷惑と心配をかけたこともありました。また

色々な人生の岐路に立った時にアドバイスをくださった先輩や仲間がいたことがありがたいとつくづく思います。

幸せなことに新しい人間関係が今でもできています。高齢化社会になり、70 歳はまだ若いと言われるかもしれませんが、先のことはわかりません。一日一日を大切に生きていくことを心がけて歩んでいきます。



四女の結婚式

野坂 土地家屋調査士 事務所

地元厚木・湘南を中心に神奈川県全域の土地・建物の登記、境界確定、測量、相続等各種相談を承ります。

土地家屋調査士 野坂剛 (高 38 回)
〒248-0005 鎌倉市雪ノ下五丁目 3 番 15 号
TEL 090-1107-5039
mail nosaka@ust-nosaka-office.com



総合電気設備工事 眞崎電工株式会社

代表取締役 眞崎 和秋 (高 22 回)

〒252-0027 神奈川県座間市座間 1-3275
TEL 046-251-2054
FAX 046-255-5488
MAIL mdk@mbe.nifty.com

創業明治十三年 大矢製畳株式会社

代表取締役 大矢 正次 (高 14 回)

〒252-0027 神奈川県座間市座間 1-4188 (座間小学校西側)
TEL 046-251-0032
FAX 046-251-6848

座間戸陵会②

厚高時代に培われ、
今を生く

蓮見 孝子(高14回)

私が厚木高校の受験を希望した時、担任は「あそこは男子校で、高3の兄からは「女性2人います」。こんなやりとりは遠い過去となりましたが、かくして私は座間出身の女性第1号でした。卒業前に交わしたサイン帳に「タコ、男なんか負けるな!!」と記した友は厚木東高校へ。入学すると女生徒は13人と多く、心強く感じたものです。

我が家は3人の兄、私、妹の5人が3歳違いで、連続15年間を厚高生として大変お世話になり、また叔父、従兄弟、甥、義兄、平成生まれの女孫も含め13人が会員名簿に載っています。父親は他の旧制中学の出身で、PTA会長を数年努めて誠に父子共々縁が深く、母校厚木高校に心より感謝申し上げます。



文芸部顧問関屋先生と部員



文芸部 菊池寛『父帰る』

本厚木駅から田んぼや畑道を後続の男子に抜かれまいと必死に歩いたことや、途中の浜田屋製パン工場から漂ってくるパンの芳しい匂いも忘れたい記憶です。開校マラソンは苦手でしたが、私は40代から走り始め、ローマ、バリ島、ロサンゼルスマラソン大会のフルを完走したり、スマホなどない時代に、ママチャリで独り京都へ出かけ、ひたすら国道1号を箱根や鈴鹿峠の山道を漕ぎ、3泊で走破達成の感動やお尻の痛さは、つい昨日のことのように。無謀とも言える冒険心?は多分、校歌斉唱の時「相州健児」の歌詞を、内心の相州健女に替えて口遊んでいたのが原点?かも。

1年生のプール授業の時、男子は海パンではなく六尺締込みで、目のやり場に困り、おまけにカナヅチの私は恥ずかし、下島先生が苦手でしたが、傘寿を前にプール教室に通い始め、アクアビクスや水中ウォークなど週に3回、水に親しみ健康を維持しています。部活動は文芸部で「群季」誌に詩や短編小説など寄稿しました。文化祭には菊池寛の「父帰る」に出演。30年後に大畑哲先生にお会いした時、あの劇をご覧になったと言われてびっくりでした。64年の東京五輪の時は学生でした。選手村内のプレスハウスで各国の特派員に接し、当時のユニホームや五輪デザインの胸のバッジは大切に保管している宝物です。

今年、東日本大震災から14年。震災で帰宅困難となり、翌日に自宅で見たテレビは、倒壊家屋や津波による犠牲者をわが身の如く思い、初めて短歌に詠んでNHKに出したところ、思いがけずに特選となり以来、歌詠みを日々の糧として拙くも続けています。6年前に夫の介護や見送りにより独り暮らしとなりましたが、ラ

海老名戸陵会

つれづれなるままに

村松 かおり(高34回)

「志望校は必ず実際に行つて説明を聞き、自分の目や心で確かめて選びなさい」昨年まで40年近く働いていた中学校で、生徒に伝えてきました。自立へ向かう初めての進路選択なのだから、主体的であつてほしい。それが、困難に直面しても「自分で決めたんだ」と奮起する力につながると思つての言葉です。

ところが、私の「15の春」は極めて受動的なものでした。「この成績なら…」と周囲に言われ迷うことなく厚高を選び、戸室の坂を初めて上つたのは願書提出の日でした。開校間もない小さな中学校

ンニングが趣味の娘と、各地の大会に出かけて応援や観光、ウォークの部に参加して完歩します。厚高時代に培った精神で気力・体力・好奇心が続く限り、時には鼓舞して、新たな未知の日々に挑戦して、生ききたいと願っています。



わが慕うキン氏に続き夫逝きぬ
願わくは連れ立ちて黄泉路を
若山牧水みなかみ紀行 伊藤一彦特別賞
令和元年11月

八月の大事な三つに加えたき
母生みくれしわが誕生日
〈方代の里なかみ短歌大会三枝浩樹特選〉
令和4年3月

別の世に離りし夫の寒がりに
今朝は持ちゆく熱き缶珈琲
〈若山牧水みなかみ紀行 入選〉
令和4年3月

トタン屋根にならぶ布団に寝ころびて
晶子を読みし十六の春
〈五足の靴短歌大会三枝昂之選者賞〉
平成23年10月

出身の自分には、至る所に歴史と伝統が感じられ、A・L組12クラスに550人近い同級生がひしめく環境は、日常的な驚きや発見に満ちていました。様々な出会いがあり、自分の「現実」と否応なく向き合う日々でもありました。個性豊かな先生方の授業は、どれも興味深くおもしろい。と思うわけではなかったのですが、担当教科に対する想いの深さや人柄・生き方の片鱗を感じることは多く、学習内容は忘れても記憶に残っている場面が今もあります。

高1の夏、何やらわからず始まった昼休みの応援練習と、それに伴う県大会の全校応援。なぜ野球部だけ?という疑問を残しながら足を運んだ会場で、応援歌や校歌を歌った体験とそこで感じた高揚感。これは、校訓である質実剛健という四字熟語を目にした時に今も蘇る感覚です。深い考えもな

く飛び込んだ弁論部では、通い合宿で大学生の先輩方に拙い原稿に練り返し朱を入れていただきました。部員としての実績は何もありませんが、起承転結の明確な文章構成や説得力のある話術等を学んだ経験は、後に国語科の教師として書くこと・話すことを指導する上での基盤となりました。歴史ある戸陵雄辯会のお蔭で、旅費の心配なく遠方の大会に参加できたのも得難い体験です。

久々に本厚木駅を通勤で利用するようになり、三剣の付いた懐かしい制服で登校する厚高生を見る機会が増えました。かつて「文武両道で大学を目指す」「最高の戸陵祭を創りたい」「ダンスドリル部で全国大会出場」といった夢を語り、巣立っていった教え子達のことを思い出しながら、現役生に心の中で「頑張れ!」とエールを送る今日この頃です。

麺や食堂グループ
蔵味噌ラーメン晴っぴ
さんさん食堂
メリケン製麺
生餃子三宝
晴れパン
はっぴ商店唐揚げ
キミとホイップ
(株) SANTA CALA 望月 治男(高16回)

教科書
(有)内田屋書房
☎ 046-258-6722
代表取締役 内田 喜康(高13回)
■ 厚木市泉町4-1 第五内田ビル3F
■ 東京農大厚木キャンパス店

新川勉税理士事務所
相続税相談・法人個人申告・各種経営相談
電話 046-297-3186
税理士 新川 勉(高30回)
有限会社 サン不動産
不動産の売買・資産運用・賃貸物件の管理
電話 046-297-3191
代表取締役 新川大志
〒243-0016 厚木市田村町9-30

愛川戸陵会

新体制のもと

着実に整備進む

『憶い出の杜』

広報担当 大貫 洋 (高25回)

令和6年度は「憶い出の杜に親しむ会」はありませんでしたが、草木は繁茂してしまふので「杜」の整備は欠かせません。3月から5月にかけて「杜」の状況把握をしながら令和6年6月15日の定例総会で発足した新体制(写真Ⅱ会



熊坂朝一会長(右) 井上武彦幹事長(左)

長、幹事長)のもと、年間活動の柱として憶い出の杜整備事業に取り組みました。

愛川町森林組合の協力を得て9月25日、下草刈りと高木の伐採・枝の剪定をしました。続いて11月16日に役員と同窓会事務局志村次長の計15人で「憶い出の杜」の整備を行いました。

令和3年11月に植樹した「花桃」は、食害防止柵が取り外され、樹高4メートル以上に成長しました。今年度は「憶い出の杜に親しむ会」の開催を計画しています(3頁参照)。これからも「憶い出の杜」の整備を続けていきます。

荻野戸陵会

秋晴れの

バーベキュー大会

広報委員 難波 伸幸 (高22回)

荻野戸陵会は毎年5月末に総会・懇親会を開催していますが、出席者の固定化、高齢化に伴い、会の活性化が課題になっていきます。そこで荻野に居住する同窓生にダイレクトメールで入会を呼びかけたり、会員が気軽に参加し親睦が深められる行事の企画検討を行っています。

こうした中、今月初めの取り組みとして令和6年11月23日、荻野戸陵会バーベキュー大会を開催しました。会場は錦繡の装いを始めた西山の峰々が間近に見渡せる絶好のロケーションにある田口芳雄副会長(高21回)の裏庭をお借りしました。当日は曇りつつない

絶好の秋日和の下、後藤祐一代議士、石射正英厚木連合会長、志村事務局次長をゲストにお迎えし、半年ぶりに会う顔ぶれに加えて新たな参加者も交え総勢22人が参加、古き良き厚高時代やふるさと荻野のよもやま話に花を咲かせ盛況裏に終了しました。



参加者の顔ぶれ

話が変わりますが、会場を提供いただいた田口さんには、前号の同窓会報に「厚高陸上部部歌」の話題を寄せていただきました。寄稿文末尾の「どなたか、部歌の作詞作曲者をご存知であろうか」との投げかけに対し、厚高で長く英語の教鞭を執っておられた高橋武彦先生から連絡があり、「自分が作詞作曲し、曲は専門家にみてもらった」とのことでした。先生は陸上部OBでもあったそうです。田口さんは作詞作曲者がわかったことはもとより、同窓会報にこのような繋がりがあるこ

秦野戸陵会

新たな挑戦がよい経験を生む

幹事 府川 貢 (高24回)



東京都美術館にて

昨年の4月に上地区の連合自治会長になった私は、あて職でいろいろな会議に呼ばれて、そこでまたその会議の会長や議長になったり委員になったりとこの1年間、今までに経験したことのない忙しい日々を体験しました。

そんな中、5、6年前に興味で始めたアクリル画ですが、習っている先生の勧めで一昨年、東京都美術館で開催された「一線美術会本展」に一般応募したところ入選し、展示されました。昨年は二度目の応募で賞候補となり、同美術会の会友推挙で、メンバーの一員になりました。昨年4月に上小学の先生から、児童に絵を教えて欲しいと言われ、忙しいので断ろうと思っていたら、ある同級生の一言で考えが変わりました。それは「声が掛かるうちが、花だよ」

数か月間でしたが、月に一度、上小学校に向き、十数人の児童に水彩画の描き方や簡単な技法など、私なりに教えました。教えた児童が孫娘と同じ小学3年生ということもあり、孫に教える調子でやってみましたが、教えることの難しさを痛感しました。

4回目の絵画教室を終え、子供たちからお礼の手紙をもらい、家で広げてみて感激しました。そこには「嫌いだった絵が先生のおかげで好きになりました」と書いてあったのです。嬉しかった。教えた子供たちの中から、絵に興味を持った子が将来すごい才能を発揮するとか? 分かりませんが、きっかけを担えたなら、この上ない喜びです。

有限会社林写真商会 取締役 足立 正久 (高17回)

～ お酒のご注文は～ (高29回)

小沼酒店

ONUMA LIQUOR STORE

TEL 0463-94-3438
FAX 0463-92-3902
〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台1-12-14

大野歯科医院

院長 大野 真一 (高37回)

診療時間 8:00～19:00
なるべく歯を抜かない、削らない!
天然歯の保存に力を入れています

TEL 0463-81-8243
〒257-0035
神奈川県秦野市本町一丁目4番20号

同期会だより

心はあの頃のままだ

高26回卒業50周年記念同期会

高26回 卒業50周年記念同期会

令和7年3月23日、レンブラントホテル厚木で高26回の同期会を開催。卒業生98人と恩師3人、吉成征一先生、岩澤敏雄先生、岩壁

清吉先生(総勢101人の盛大な会となりました。70年代のBGMが流れる中、続々と皆さんが入場。26回生は今年度古希を迎えますが、まず物故者への黙とうから幕を開けました。コロナ禍で8年ぶりの開催でしたが、卒業からいつのまにか半世紀も経つのだと実感せざるを得ませんでした。

その後、今年米寿を迎える吉成先生、茅賞受賞者の鈴木篤さん、フエニングインターハイ全国優勝の犬矢清隆さんらによる鏡開

校歌・応援歌の合唱



鏡開き



60人以上が参加した二次会の様子



き、当時の生徒会長で現在は海老名市長の内野優さんの音頭で乾杯をしました。

アトラクションでは、同期のオペラ歌手篠崎寿さんが、会場に響きわたるテノールの美声で、「オーソレミオ」や「グラナダ」を歌い、開業医で相模湖近くにある懐石料理店「寿麴庵」のオーナーでもある梶原功嗣さんが、ギターの弾き語りをして会場を盛り上げました。

今でも集まっている部活のOB会や、同期の女性だけで年に一度集まっている秋桜会、年数回のコンペを行っているゴルフ同好会などの活動報告のち、吹奏楽部OBを中心にしたバンド「DATTAJIN」の皆さん18人に、懐かしい曲のメドレーを大迫力で演奏して頂きました。

終盤、応援歌「栄えあれ厚木」と校歌斉唱で、応援団OBの小林芳彦さんがリーダー、池田直人さんと濱口直彦さんがサブリーダーで高校時代さながらのパフォーマンスを見せると雰囲気は最高潮に達し、気持ちは一気に高校時代に帰った心地がしました。3年後の再会を誓い散会。お土産には海老名の大久保尚見さんの営む和菓子店「二葉」の古希祝の紅白饅頭が用意されました。

隣室「アンシャンテ」に会場を移動しての二次会には61人も人が参加し、中には二次会から駆けつける人もいて大盛況でした。今回の同期会をきっかけに、50年ぶりの友人たちと連絡を取り合うようになったという話も聞きました。

厚高で過ごしたのはたった3年間でしたが、恩師の先生方や仲間たちと共有した時間は、今でも大切な宝物です。

縦のつながりを深めた

新しい同窓会のかたち

高38回・41回同期会 合同二次会

令和6年10月6日、レンブラントホテル厚木で高38回、39回、40回、41回同期会を開催しました。

【38回】参加者数55人。写真家の中野愛子さん(高39)による集合写真の撮影、応援団OB3人による校歌斉唱

【39回】参加者数70人。連絡先不明者の情報収集に努力した。次回は還暦年になる同期会。初参加が半数。高校時代の映像を映写

【40回】参加者数94人。2回目の参加者数136人。卒業35周年、成人式の年以來、30年振りの開催。連絡先不明者にはSNSを駆使して情報収集

【41回】参加者数136人。卒業35周年、成人式の年以來、30年振りの開催。連絡先不明者にはSNSを駆使して情報収集

それぞれ同期会終了後、会場を移して4学年合同の二次会を開催。210人が参加し、盛大なものになりました。

会の冒頭、樽酒の鏡開きは恩師2人(澤先生・須藤先生)と各代の幹事代表の6人で行い、懐かしい顔ぶれとともに乾杯しました。また、当時45あった部活動を3つずつ1テーブルに配置し、同じ部活動の先輩後輩はもちろん、他学年の方々と

も積極的な交流を図りました。最後は、高38回応援団副団長によるリレーディングで校歌を斉唱し、皆で母校愛を改めて感じる事ができました。

縦の代での合同同期会はおそらく初の試みではないかと思えます。昨年8月から準備を開始し、合計5回のオンライン打ち合わせを行い、開催に漕ぎつけました。楽しい時間を共有することで、同窓の絆を深める素晴らしい機会となりました。

(幹事代表 38回 神戸幸男、39回 佐野友映、40回 山口薫、41回 横瀬達也)

それぞれの同期会終了後、会場を移して4学年合同の二次会を開催。210人が参加し、盛大なものになりました。

会の冒頭、樽酒の鏡開きは恩師2人(澤先生・須藤先生)と各代の幹事代表の6人で行い、懐かしい顔ぶれとともに乾杯しました。また、当時45あった部活動を3つずつ1テーブルに配置し、同じ部活動の先輩後輩はもちろん、他学年の方々と



恩師と幹事で鏡開き

応援します!!

同期会、部活動OBOG会、総会等の支部活動、成人祝賀会の開催

- 同期会・部活動OBOG会、総会等=10～19人1万円、20人以上2万円
- 成人祝賀会：10万円

お問い合わせ・申請は事務局へ
koryo-secretariat@google.com



扉座

主宰/劇作家・演出家 横内謙介(高32回)
俳優 岡森 諒(高32回) 俳優 六角精児(高33回)

幻冬舎PRESENTS
劇団扉座第80回公演

つか版・忠臣蔵2025(仮)

原作 つかさへひ 脚本・演出 横内謙介

11月29日(土)・30日(日) 厚木市文化会館小ホール
12月9日(火)～12月14日(日) 紀伊国屋ホール
(問) 扉座 03-3221-0530

詳細は扉座HPへ <https://tobiraza.co.jp>



OPERA LAND

コンサートプロデュース・CD制作
音楽教室・レンタルレッスンスタジオ



Facebook森口賢二公演情報 →
森口 賢二(高44回)



<http://operaland.ciao.jp/>
info@operaland.ciao.jp
住所：〒186-0002 国立市東1-3-15 国立ダイカンプラザ103

同窓会本部役員・理事・支部役員

（令和 7 年 8 月 1 日現在）

【本部役員】		
会 長	熊坂 隆光（高 19）	
副 会 長	荻田 准三（高 19）	松本 茂（高 20）
	杉岡 芳樹（高 21）	福島 豊（高 21）
	谷 茂（高 22）	石射 正英（高 24）
	八田 育子（高 24）	中山 和男（高 26）
	新川 勉（高 30）	武藤 俊宏（高 30）
監 事	園田 教智（高 24）	井澤 郁人（高 29）

【事務局】		
事務局長	志村 祐一（高 24）	令和 7 年 1 月 26 日から
事務局次長	松下 博俊（高 33）	
会 計	安藤 康恵（高 26）	長田 靖子（高 33）

【理 事】		
町山 良行（高 11）	荻田陽一郎（高 14）	鶴指 真澄（高 15）
熊坂 朝一（高 16）	大貫 睦男（高 17）	足立 一彦（高 17）
若林 泰行（高 18）	小淵 正志（高 18）	伏見 清（高 18）
天岸 寿昭（高 21）	三沢 賢一（高 21）	梶山 光男（高 22）
土屋 忠之（高 22）	真崎 和秋（高 22）	小川 均（高 22）
小塩 恒夫（高 22）	清水 隆敏（高 22）	成瀬 貞司（高 22）
石射 嘉一（高 22）	阿部 洋（高 22）	鈴木 正美（高 23）
頼住 道夫（高 23）	山田 和彦（高 24）	大沢 弘（高 25）
剣持 典子（高 26）	今井 雅裕（高 26）	高橋 昌和（高 27）
石井 孝（高 28）	小沼 富夫（高 29）	井澤 郁人（高 29）
山口 薫（高 29）	田口 孝男（高 30）	伊藤 学（高 30）
八田 誠（高 36）	栗田 剛志（高 40）	

【各地区支部】		
1 伊勢原戸陵会	14 厚木連合戸陵会	
会 長 三橋 要（高 21）	会 長 石射 正英（高 24）	
事務局長 齋藤 実（高 25）	幹事長 石射 嘉一（高 22）	
2 秦野戸陵会	事務局長 大沢 弘（高 25）	
会 長 松永 光弘（高 24）	① 厚木戸陵会	
幹事長 小川 幸雄（高 24）	会 長 橋本 和己（高 18）	
3 津久井戸陵会	事務局長 新川 勉（高 30）	
会 長 菅野 敬子（高 18）	② 依知戸陵会	
事務局長 成瀬 貞司（高 22）	会 長 鈴木 正美（高 23）	
4 平塚戸陵会	事務局長 清水 功（高 24）	
会 長 落合 重治（高 13）	③ 睦合戸陵会	
事務局長 渡辺 兼行（高 19）	会 長 平野 亮二（高 27）	
5 相模原戸陵会	事務局長 水島 泉（高 29）	
会 長 杉岡 芳樹（高 21）	④ 荻野戸陵会	
事務局長 古井 隆一（高 30）	会 長 伏見 清（高 18）	
6 座間戸陵会	事務局長 土屋 忠之（高 22）	
会 長 齊藤 昌代（高 26）	⑤ 小鮎戸陵会	
事務局長 中島 信義（高 29）	会 長 頼住 道夫（高 23）	
7 愛川戸陵会	事務局長 臼井 志信（高 30）	
会 長 熊坂 朝一（高 16）	⑥ 南毛利戸陵会	
幹事長 井上 武彦（高 24）	会 長 小淵 正志（高 18）	
8 川崎市多摩麻生戸陵会	事務局長 石井 孝（高 28）	
会 長 町山 良行（高 11）	⑦ 玉川・森の里戸陵会	
9 綾瀬戸陵会	会 長 梶山 光男（高 22）	
会 長 見上 正信（高 23）	事務局長 三橋 功（高 29）	
事務局長 八田 誠（高 36）	⑧ 相川戸陵会	
10 海老名戸陵会	会 長 小塩 恒夫（高 22）	
会 長 三橋 正春（高 18）	事務局長 諸星 敏廣（高 24）	
事務局長 鶴指 真澄（高 15）	15 清川戸陵会	
11 三浦半島戸陵会	会 長 山田 和彦（高 24）	
会長代理 伊藤 学（高 30）	事務局長 落合 秀夫（高 27）	
12 大和戸陵会	16 関西戸陵会	
会 長 天岸 寿昭（高 21）	会 長 福本 豊（高 28）	
事務局長 長田 靖子（高 33）	幹事長 高橋 信一（高 28）	
13 藤沢戸陵会		
会 長 大貫 睦男（高 17）		

同窓会ホームページ
のご案内

同窓会では、公式ホームページを開設しています。ぜひご覧ください。同窓会報も、ここからダウンロードできます。掲載希望がある方は、事務局へ。



<https://www.atsukou-dousou.org/>



事務局だより

校内役員は次の 8 人で
令和 7 年 4 月の人事異動で内野秀明さん、高橋祐さんが転出し、新たに吉谷友里さんと有園一真さんと茅秀明さんが加まりました。今年度の校内役員は次の 8 人です。

・総務
谷田 和久（高 29 回）

・校歌祭
有園 一真（高 68 回）
池田優太郎（高 59 回）
大塚 晃子（高 53 回）

・同窓会名簿
谷田 和久（高 29 回）

・会計（本部会計担当）
魚谷志磨子（高 36 回）
池田優太郎（高 59 回）

・会計（部活動支援基金担当）
茅 秀明（高 35 回）
吉谷 友里（高 55 回）
西井 礎武（高 59 回）

編集後記

前号掲載の村尾みどり様の寄稿記事について、編集過程で筆者の意図とは異なる修正を加え、最終確認なしに掲載してしまいました。この不適切な対応により、村尾様にはご迷惑をおかけし、またご不快の念を抱かせてしまったことを深くお詫び申し上げます。今後は、すべての寄稿記事において筆者の最終確認を徹底いたします。（広報委員会）

○ スーパーで米 5 ㍲の値段が 4000 円を超え、流通も滞り各家庭では大変な状況になって、政府は、備蓄米の放出で何とかしようとしている。そんな状況の中、関西圏では「EXPO2025 大阪・関西万博」の開催で大いに盛り上がっているようだ。
○ 4 月以降、各支部総会が開催されている。どこも年々、加入率が下がり、今後の会の運営そのものが難しくなる恐れが出てきている。しかし、希望もある。厚木市の荻野支部や秦野支部では、会員の増強を図り、様々な取り組みがなされている。
○ 次の 10 年に向けて、各支部会と本部との連携を深め、同窓会活動をより良い方向へと推し進めてゆきたい。（志村）

2023-26 年 広報委員会委員（令和 7 年 4 月 1 日現在）				
役 職	氏 名	卒 回	所属戸陵会	
委 員 長	杉岡 芳樹	（高 21）	本部（副会長）	
副委員長	新川 勉	（高 30）	本部（副会長）	
委 員	齋藤 実	（高 25）	伊勢原	
委 員	安斎 達也	（高 43）	秦野	
委 員	小室 久敏	（高 20）	津久井	
委 員	倉本 憲一	（高 27）	平塚	
委 員	三沢 賢一	（高 21）	相模原	
委 員	金子 せつ子	（高 18）	座間	
委 員	大貫 洋	（高 25）	愛川	
委 員	八田 誠	（高 36）	綾瀬	
委 員	山崎 久男	（高 19）	海老名	
委 員	天岸 寿昭	（高 21）	厚木連合	
委 員	大沢 弘	（高 25）	厚木	
委 員	池田 清	（高 19）	依知	
委 員	大塚 重雄	（高 28）	睦合	
委 員	葉山 俊章	（高 29）	荻野	
委 員	難波 伸幸	（高 22）	小鮎	
委 員	臼井 志信	（高 30）	南毛利	
委 員	小島 聡	（高 33）	玉川・森の里	
委 員	越智 裕	（高 25）	清川	
委 員	山田 和彦	（高 24）	本部（事務局長）	
委 員	志村 祐一	（高 24）	本部（事務局次長）	
委 員	松下 博俊	（高 33）		

同窓会名簿の適切なご利用を
お願いいたします。（事務局）